

A 正誤表

Rotary Speaker Type 設定について

対象マニュアルバージョン: v1.01 まで

Revision B 以降のユニットではハードウェアの仕様が変更され、当該の設定を **[SHIFT] + ROTARY SPEAKER [ORGAN]** で行うようになりました。Rev B ユニットでは、Sound メニューを開いても「7 — Rotary Speaker Type」は表示されません。

6 ページ、57 ページ

(誤) 7 — Rotary Speaker Type

(正) (説明含め削除)

(誤) 8 — Rotary Rotor Speed

(正) 7 — Rotary Rotor Speed

(誤) 9 — Rotary Rotor Acc.

(正) 8 — Rotary Rotor Acc.

(誤) 10 — Rotary Horn Speed

(正) 9 — Rotary Horn Speed

(誤) 11 — Rotary Horn Acc.

(正) 10 — Rotary Horn Acc.

Triple Saw 5th+ 波形について

対象マニュアルバージョン: v1.01 まで

説明されている音程が、実際の挙動より 1 オクターブ低いものになっていました。なお、「Triple Saw 5th+」の名前は OS v1.20 以降「Multi Saw 8ve 5th+」に変更されています。

29 ページ

(誤) 基音そのままのものと、1 オクターブと 5 度離れたものと、1 オクターブ下のものと重なった 3 つの鋸歯状波。

(正) 基音そのままのものと、1 オクターブ離れたものと、2 オクターブと 5 度離れたものと重なった 3 つの鋸歯状波。

B 更新履歴

OS v1.22

リリース日: 2024年1月16日

機能追加、機能改善、および仕様変更

- ・ MIDI クロック同期フレームワークへ小規模な変更を加えました。

不具合修正

- ・ 特定の macOS バージョンで OS インストーラーが実行できない問題を修正しました。
- ・ 「Sustain+Rotor Toggle」設定が「Sustain+Rotor Hold」と同じふるまいになっていた問題を修正しました。
- ・ **ORGAN VIB/CHORUS [ON]** のヒント表示がオンとオフで逆転していた問題を修正しました。

OS v1.20

リリース日: 2023年12月21日

機能追加、機能改善、および仕様変更

シンセセクション

- ・ 新しいアナログ波形カテゴリー「サブオシレーター (Sub Osc)」を追加しました。次の選択肢は次の通りです。
 - ・ Sub Square Saw (1 オクターブ低い矩形波と鋸歯状波)
 - ・ Sub Pulse Saw (2 オクターブ低いパルス波と鋸歯状波)
 - ・ Sub Sine Saw (1 オクターブ低いサイン波と鋸歯状波)
- ・ マルチオシレーター (Multi) カテゴリーに、デチューン付きのユニゾン鋸歯状波「Multi Saw」を追加しました。これに伴い、同カテゴリーの各選択肢の名前を次の通り変更しました。

・ (旧) Dual Saw	・ (新) Multi Saw 8ve
・ (旧) Dual Saw 5th	・ (新) Multi Saw 5th
・ (旧) Dual Saw 5th+	・ (新) Multi Saw 5th+
・ (旧) Triple Saw	・ (新) Multi Saw 8ve 8ve+
・ (旧) Triple Saw 5th	・ (新) Multi Saw 8ve 5th+
- ・ アナログ波形カテゴリーの並び順を変更しました。変更後の並び順は次の通りです。
 - ・ ピュア (Pure)
 - ・ サブオシレーター (Sub Osc)
 - ・ シェイプ (Shape)
 - ・ シェイプサイン (Shape Sine)
 - ・ マルチオシレーター (Multi)
 - ・ スーパー (Super)
 - ・ その他 (Misc)

- ・ ホワイトノイズ (White Noise) 波形を「ピュア」カテゴリーに移動しました。これに伴い、波形の名前を「Pure White Noise」に変更しました。
- ・ ベル (Bell) 波形を「その他」カテゴリーに移動しました。これに伴い、「ベル」カテゴリーを削除しました。
- ・ 各メニューが開いているときに **ARPEGIATOR/GATE** および **VIBRATO** の **[MENU]** ボタンを再度押した場合、これまでは直前に開いていたメニューへ遷移していましたが、これを切り替えないようにしました。
- ・ エンベロープベロシティを使用したモノ / レガートサウンドにおけるオシレーター / フィルターエンベロープの動作を改善しました。
- ・ いくつかのシンセパラメーターのヒントを、プログラムディスプレイにのみ表示するようにしました。

ペダル

- ・ 設定値「Layer Scene II」を「Layer Scene II Toggle」と「Layer Scene II Hold」に分割しました。「Toggle」を選ぶと1回踏んで放すごとにレイヤーシーンを切り替えます。「Hold」は従来通りの動作です。
- ・ Control Pedal、Swell Pedal、Sustain Pedal の Type 設定が適切でない場合にメッセージを表示し、Pedal メニューを開いたときに自動で修正するようにしました。

MIDI

- ・ 外部機器との同期に関する処理を改善しました。
 - ・ 外部機器のテンポへの追従を早めました。
 - ・ マスタークロック機能を使用したプログラム同士で切り替えたときのクロック処理を改善しました。
 - ・ システムリアルタイムメッセージの処理を全体的に改善しました。

その他

- ・ 現在操作しているロケーションに別のプログラムを素早くロードするための「インポート」機能を追加しました。プログラムボタンを押しながら **[PROGRAM]** ダイアルを回すとリストが表示されます。
- ・ 同じ名前のプログラムがある場合、括弧付き数字を自動的に割り振って表示するようにしました。これに伴い、重複するプログラム名に直接括弧付き数字を埋め込むふるまいを削除しました。
- ・ 長押しによるシフト機能の有効化において、長押しを検知したときではなく、長押しを検知してからボタンが放されたときに、効果を適用するようにしました。
- ・ グローバルに対して有効だった All FX Off 機能を、レイヤーごとに機能するよう変更しました。
- ・ プログラムリストビューを Num モードで開いているとき、現在のプログラムカテゴリーがリストに表示されるようにしました。
- ・ モーフを使ったパラメーターに対する、コントロールを操作したときや **[MON/COPY]** を使ったときのヒント / モニター表示を、操作時点のモーフ量が反映されたものにしました。

- パラメーターのヒント表示にさまざまな修正と改善を加えました。

不具合修正

シンセセクション

- 特定の状況においてロードしたプログラムのエンベロープ設定が崩れてしまう問題を修正しました。
- これまでわずかに余分な倍音を含んでいた Osc Ctrl = 0 のときの Shape Sine Fold 波形を、純粋な正弦波にしました。
- レガートモードでサンプルのピッチが正しく発音されない場合がある問題を修正しました。

MIDI

- レイヤー MIDI チャンネルが競合している場合に音が止まらなくなることがある問題を修正しました。
- CC#72 がと Piano Layer Enable と Effects Piano Focus Group の両方に作用していた問題を修正しました。Effects Piano Focus Group には新しく CC#91 を割り当てました。
- Aux KB を有効にしたレイヤーにシンセプリセットをロードすると Aux KB がオフになってしまう問題を修正しました。

その他

- [MOD 1]** および **[MOD 2]** セクターボタンに対する **[MON/COPY]** によるモニタリングが正しく機能するようにしました。
- プリセットをキーボードゾーンにロードしたとき、非アクティブなレイヤーにキーボードゾーンが適用されてしまう問題を修正しました。
- セクション **[ON]** ボタンや **SPLIT [ON/SET]** ボタンでストア操作をキャンセルしたとき、元のプログラム設定に影響を及ぼしてしまう問題を修正しました。
- レイヤーのキーボードゾーンを変更した後、オクターブシフトのヒント表示や利用可能なオクターブシフト範囲が正しくなくなってしまう問題を修正しました。
- 複数のシングルレイヤープリセットを別々のレイヤーにロードしたとき、影響を受けるレイヤーが自動的にオンになってしまう問題を修正しました。

OS v1.14

リリース日: 2023 年 9 月 15 日

機能追加、機能改善、および仕様変更

- MIDI メニューの Organ Channel、Piano Channel、および Synth Channel ページに「Sect」設定を追加しました。これをオンにすると、レイヤー A に割り当てた MIDI チャンネルは「セクション MIDI チャンネル」としてふるまい、これを通じて他のすべてのレイヤーを制御することができるようになります。
- NRPN メッセージを送受信するかどうかを「Off」、「Send」、「Receive」、「Send+Receive」から選択する「NPRN Mode」設定を廃止し、代わりに「Control Change Type」設定を追加しました。新しい選択肢は「CC Only」と「CC+NRPN」です。これは、以前に可能であった組み合わせのほとんどが使い道のないものだったためです。
- バンクセレクトメッセージを伴わないプログラムチェンジメッセージをセクション MIDI チャンネルから受信したときでも、プリセットが変更

されるようにしました。シンセセクションではバンクセレクト LSB のみを伴ったプログラムチェンジメッセージによってプリセットバンクを切り替えることができます。

- プログラムフォーマットを v3.08 に更新しました。
- シンセプリセットフォーマットを v2.06 に更新しました。

不具合修正

- シンセセクションでサンプルモードとアナログモードを組み合わせている場合に、打鍵しても発音しないことがある問題を修正しました。
- 使用するプログラムによっては、プログラムを切り替えたときにロータリースピーカーの出力レベルが変動してしまうことがある問題を修正しました。
- スウェル / コントロールペダルが正しいタイプに設定されていない場合に、値が実際の踏み込み以上に大きく変動してしまう問題を修正しました。
- レイヤーシーンを切り替えるときに、モーフ、スウェルペダル、ビブラートペダル、およびピッチバンドが正しく動作しなくなる問題を修正しました。
- Extern レイヤーのバンクセレクトパラメーターは、0 ~ 126 の範囲を持っていました。MIDI 本来の規定である 0 ~ 127 へ修正しました。
- エンベロープ設定を **[SHIFT] + [MON/COPY]** で貼り付けたときに、ソフト機能である **FILTER [VELOCITY]** や **AMP [VELOCITY]** まで操作してしまう問題を修正しました。
- プログラムを **[SHIFT] + [MON/COPY]** で貼り付けようとしても機能せず、メニューが開いてしまう問題を修正しました。
- パラメーターのモニター機能を使用した後、イコライザーやグライド等、特定のヒント表示が消えずに残ってしまう問題を修正しました。
- 軽微な不具合を修正しました。

OS v1.12

リリース日: 2023 年 7 月 7 日

不具合修正

- 単一のサンプル / ゾーンからなるカスタムサンプルをロードするとフリーズしてしまう問題を修正しました。Stuart 氏の報告に感謝します。

OS v1.10

リリース日: 2023 年 7 月 6 日

機能追加、機能改善、および仕様変更

- アンドゥ機能を追加しました。これらの操作は、**[SHIFT] + [SOLO]** を押すことで元に戻せるようになりました:
 - エフェクトのグループ機能。
 - All FX Off 機能。
 - ペースト操作。
 - プリセットの読み込み。
 - モーフ設定の消去。
 - 編集中のプログラムからのプログラムチェンジ。
 - Synth Init および Layer Init 操作。

- ・ シンセセクションにおける、LFO、フィルター、アルペジエーターのグループ機能。
- ・ リドゥ機能を追加しました。アンドゥ操作の後に **[SHIFT] + [SOLO]** を押すと、**Redo** ソフトボタンが表示されます。
- ・ プリセットライブラリーからプリセットをロードするときに、対応するプログラムチェンジメッセージが送信されるようにしました。ここで一緒に送信されるバンクセレクト MSB の値は、シンセプリセットで 2、ピアノプリセットで 3、オルガンプリセットで 4 です。
- ・ Layer Init 操作のとき、初期化対象のレイヤーがソフトボタンのラベルに併記されるようにしました。
- ・ Pedal メニュー → Sustain Pedal ページの「Func」設定に、新たな選択肢として「Sus+ Rotor Tog.」を追加しました。
- ・ Aux KB が割り当てられたレイヤーもピッチベンドを受信するようにしました。本体のサステインペダル (**SUSTPED**) とピッチスティック (**PSTICK**) は、対応するパネル LED のオン / オフ状態に応じてレイヤーに作用します。
- ・ ユニゾンとラウンドロビンが組み合わされたときのサンプルの処理を改善しました。
- ・ 「NRPN Mode」設定が「Off」の場合、NRPN で制御されるすべてのパラメーターがローカルで動作するようにしました。
- ・ ペースト操作を行ったときに「E」が表示されるようにしました。
- ・ Store As テキスト入力の **Del** ソフトボタンと **Ins** ソフトボタンを、長押しによるリピート入力に対応させました。

不具合修正

- ・ 起動したときや Pedal メニューで選択したときに、接続された Nord TP-1 が、ダンパーがオンの状態で初期化されてしまうことがある問題を修正しました。
- ・ Nord TP-1 を使用しているときに、中央のペダルに割り当てた機能が左側のペダルでトリガーされてしまうことがある問題を修正しました。
- ・ レイヤーシーンを切り替えたときに、ソロモードでエフェクトフォーカスが同期しなくなることがある問題を修正しました。
- ・ ライブモードに入ったり、ライブモードから戻ったりするときに、編集されていないプログラムに「E」が表示されてしまうことがある問題を修正しました。
- ・ ストアビューで Num Pad による入力が視覚化されない問題を修正しました。
- ・ ロータリースピーカーがモノラル出力にルーティングされている場合、プログラムを切り替えるときに意図しない動作を起こすことがある問題を修正しました。
- ・ 起動直後に **[SHIFT] + [PRESET]** でドローバー設定を同期した場合、想定と異なるドローバー設定が適用されることがある問題を修正しました。
- ・ Sound メニューの Volume Level Offset 機能が、レイヤーボリュームへのモーフを正しく処理できないことがある問題を修正しました。